

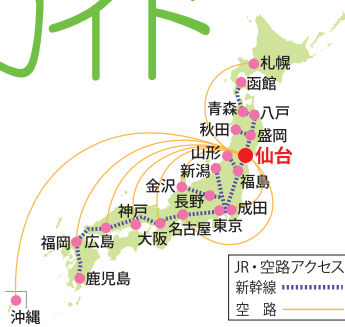
伊達な旅ガイド

Vol.267

笑顔咲くたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城



伊達な旅紀行
いいトコ!
みやぎ
毎週月曜日
19:54~20:00
BS-TBSにて大好評放送中



4月3日
放送

震災を語りつぐ千年希望の丘

東日本大震災の津波によって壊滅的な被害を受けた岩沼市の沿岸部。ここでは震災の教訓を千年後の子どもたちに残すためのプロジェクトが進行中です。

「千年希望の丘」は、小高い展望台に避難して津波を免れた人々の教訓から建てられたもので、震災により発生したがれきが再利用されています。緊急時には頂上の東屋に幕が下り、避難用テントにも!全部で15基を建設予定で、現在9基が完成。敷地の一部では羊の放牧も行われています。



千年希望の丘交流センター 館長 百井 弘さん

「丘の想いとしては、人の命を守るということ、それから大震災を伝えていくということ。多くの方々と一緒にみんなで千年希望の丘を作っていきたいと思っています」



千年希望の丘交流センター Tel.0223-23-8577

公益社団法人 青年海外協力協会 原田 勝成さん

「荒地を、きれいで、住民たちも来られるような牧草地にしようと、羊の放牧に取り組んでいます。羊は非常に大人しくて接しやすい動物なので、アニマルセラピーにもなります」



千年希望の丘/東屋



千年希望の丘交流センター



羊の放牧

今回立ち寄った場所

にしき食品

Tel.0223-29-2091

カレーやスープなどのレトルト商品専門の会社。およそ100種類のレトルト商品が作られています。店頭では、「千年希望の丘」をテーマに、岩沼市のキャラクターをデザインした「岩沼係長カレー」も販売。収益金の一部は千年希望の丘プロジェクトのために使われます。



にしき食品 齋藤 幸治さん

「我々も、この工場も被災をしておりますので、何か地元へ貢献できることをしたいなど。商品を通じてお役に立てればと思っています」



千年の丘 COLUMN

地元の企業からは、「千年希望の丘」をテーマにしたプロジェクト賛同商品も登場しています。



ヒルズウエイト
どっしりと支える文鎮



精密コマ
「ぎのこま」

震災前、沿岸部の松林に生息していたきのこをモチーフにしたこま